

(仮称) 茅ヶ崎市実施計画 2030 について

1 総合計画と実施計画の関係

(1) 総合計画

令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの10年間の計画で、市の目指す姿である「将来の都市像」と都市像を計画的に実現するための政策の基本的な方向となる「政策目標」を総合的かつ体系的に定めます。

あわせて、行政運営に当たっての行動指針となる「行政運営の基本姿勢」を定めます。

(2) 実施計画

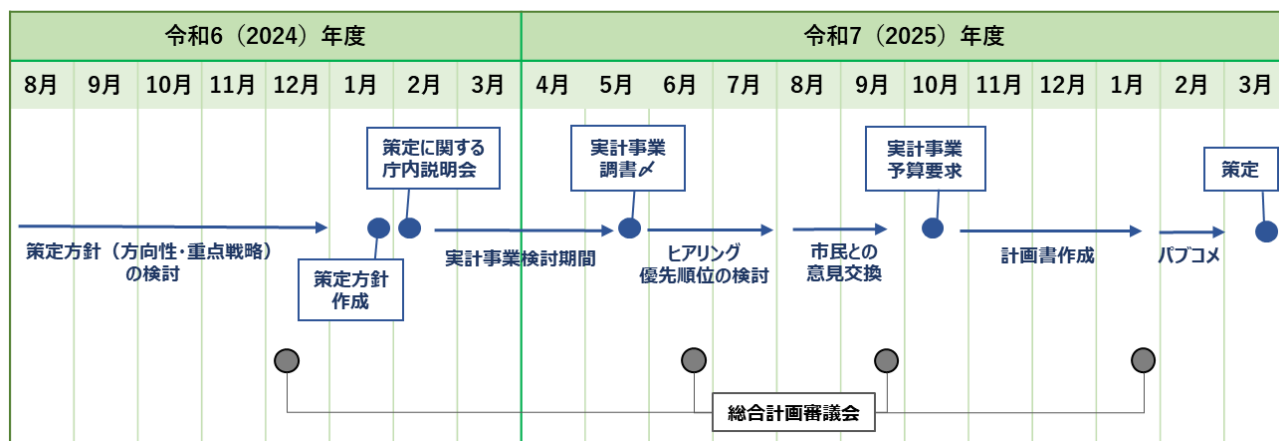
総合計画に定めた将来の都市像を実現するための5年間の実行計画であり、短・中期的な方策の方向性である「施策目標」と、実現の具体的な手段である「事業」を定めます。

また、実施計画は、社会情勢の変化等に柔軟に対応できる計画とするとともに、計画期間中に特に重点的かつ分野横断的に取り組むべきテーマを「重点戦略」として位置付け、メリハリある計画推進に取り組みます。



2 策定スケジュール (案)

- (仮) 茅ヶ崎市実施計画 2030 の策定にあたっては、市役所の各課で実施計画事業の検討を充分に行えるよう、従前と比較して策定方針の決定を2か月前倒しし、十分な検討期間を確保します。



3 策定方針の構成（案）

(1) 実施計画の役割と実施計画事業の考え方

- 実施計画事業の定義
- 財政フレームとの整合を図るための実施計画事業の優先度の設定
- 策定後の柔軟性の確保

(2) 事業の方向性

- 中間評価と社会情勢の変化を踏まえ、実施計画事業として特に検討すべき事項を記載

(3) 重点戦略の視点

- 下記、項番 4 参照

(4) 策定体制

- 市役所内での検討体制
- 市民との意見交換の方法

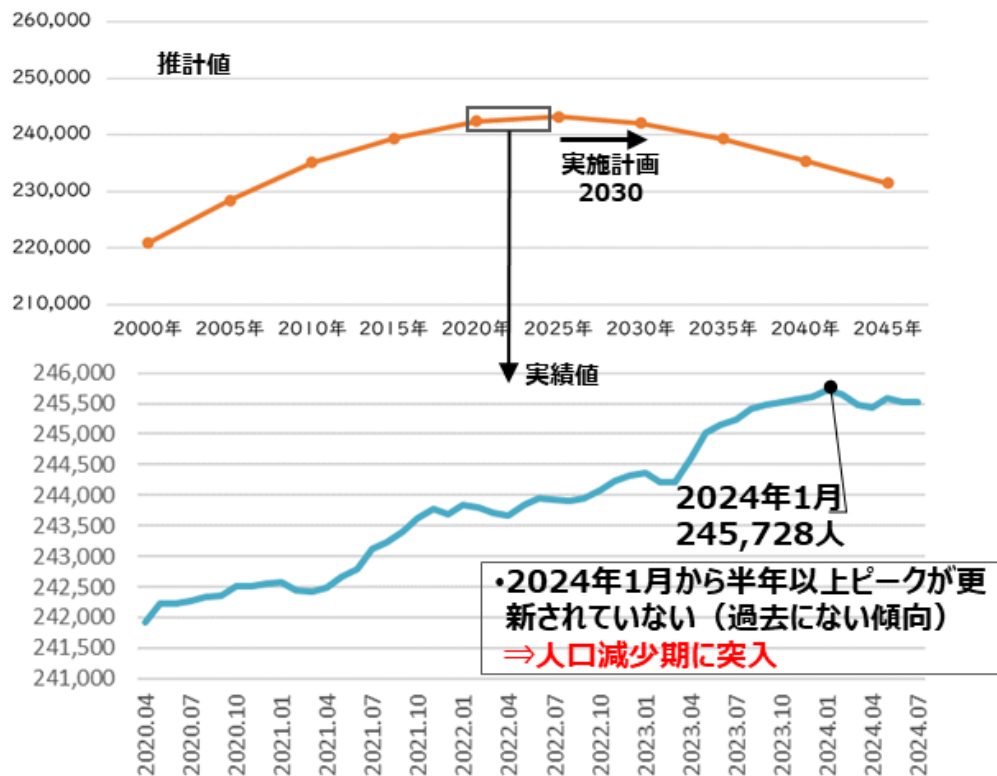
(5) 実施計画図書の作り方

- 市民にとって見やすい、理解しやすい実施計画図書を作成

4 重点戦略の検討のポイント

(1) 実施計画 2030 の計画期間中の社会情勢

- 人口推計では 2025 年がピークとされ、実施計画 2030 の計画期間は人口減少期となっています。
- 実績値では 2024 年 1 月がピークとなり、7 か月以上そのピークを上回っていません。これはこれまでの見られない傾向で、実態としても人口減少期に突入したと判断できます。



茅ヶ崎市の人口の推計値（上段）と実績値（下段）

(2) 重点戦略の視点（案）

